

「校内研修プログラム」の活用事例
～円滑な引き継ぎのための校内研修～

【活用するシート】
Ⅳ－２ 個別の教育支援計画の活用

研修時間

20分間

主な内容

○ 個別の教育支援計画を活用した円滑な引き継ぎにおいて、必要な観点について理解を深める研修

手 順

準 備

・「Ⅳ－２ 個別の教育支援計画の活用」のシート

タイム
テー
ブル

1分

1 研修のねらいの確認

・個別の教育支援計画を活用した引き継ぎについての理解を深める。

2分

2 研修方法の説明

○ ロールプレイによる進行について
・小学校コーディネーター役、中学校コーディネーター役、観察役に役割を分担してロールプレイを行う。

5分

3 シートを活用した演習

① ロールプレイ

9分

② グループ協議

・1グループ3～4名で協議を行う。
・ロールプレイを基に、「引き継ぎの観点」に沿って「よかった点」と「今後改善が必要な点」について協議する。

ここがポイント！

5つの観点に沿って話し合いを深めることが重要です。

3分

4 まとめ・振り返り

事後の取組

○ グループで話し合った「よかった点」と「今後改善が必要な点をまとめ、配付する。

研修シート(試案)

Ⅳ－２ 個別の教育支援計画の活用

◎ ねらい
個別の教育支援計画を活用した次の校種への引き継ぎの仕方について考える。

1 個別の教育支援計画を活用した次の校種へ引き継ぐ際のロールプレイ

(コーディネーター役2名、観察役に役割を分担して実施します)

※ 場面を設定してロールプレイを行ってください。

【場面設定の例】

・小学校のコーディネーターが、中学校のコーディネーターへ引き継ぐ場面

【引き継ぎの観点の例】

○ 本人の思いや願い

○ できるようになってきたことやできそうなこと

○ 保護者の願い

○ これまで取り組んできた環境づくりや支援

○ 特に留意すべき点

2 振り返り(場面を演示して気付いたこと)

○ 対象となる子どものできるようになってきたことやできそうなことを共通理解することにより、次の校種での具体的な支援につながるようになりました。

○ 本人や保護者の願いを把握することが、保護者との信頼関係を築く際に大切だと感じました。